

シンポジウム

# 沖縄の今を考える

2017/1/11(水)

18:00 ~ 20:00

弁護士会館2階講堂クレオBC

**予約不要 参加無料**

**辺野古埋立承認取消に関する  
行政訴訟の論点**

**岡田正則**氏

早稲田大学大学院法務研究科教授

**高江へリパッド建設強行問題**

**伊志嶺公一** 弁護士

沖縄弁護士会会員

問合せ先 人権課

TEL 03-3581-2205

**広く一般の方々の参加をお待ちしております**



東京弁護士会

# 高江ヘリパッド 建設強行問題

伊志嶺公一 弁護士

沖縄弁護士会会員



## 辺野古埋立 承認取消に関する 行政訴訟の論点

岡田正則氏

早稲田大学大学院法務研究科教授



今、沖縄では、米軍普天間飛行場の辺野古移設問題や、北部訓練場の一部返還の条件になっている高江ヘリパッド建設強行に見られるように、日本政府の掲げる政策が本土では見られないような強圧的な方法で実行されつつあります。

ところが、本土には沖縄の生（なま）の情報がなかなか伝わらないなどの事情もあって、本土の住民と沖縄の住民との間には問題に関する意識に差が生じかねない状況にあります。

人権擁護委員会沖縄問題対策部会では、沖縄で起こっていることの実態を知ること、そしてどのような法的問題があるかを知るため、このシンポジウムを企画いたしました。

問合せ先 人権課  
TEL 03-3581-2205

丸ノ内線「霞ヶ関」駅  
B-1b 出口  
千代田区霞が関 1-1-3

